む」のテーマで活動の例を挙「埼玉の豊かな水と緑を守り

来を創る人材への投資」の2つ豊かな水と緑を守り育む」「未要として設定したのは「埼玉のマとして設定したのは「埼玉の う「埼玉版 SDGs

経済」の三側面で調和した社会下、これまでも「環境・社会・下」という SDGs の基本理念の

に関するお考えや、県の具体的ていますが、まず改めて SDGs に積極的に取り組まれいますが、まず改めて SDGs

人材を創る「暮らしやすさ」が



## 「埼玉県版 SDGs」で描く、官民共生の新たな道筋

埼玉県知事

株式会社YZコンサルティング代表取締役

つくりを合わせて作る「埼玉ト技術を加え、災害に強いまちります。県では、これにスマーリます。 事業展開にも優位な好

続けられるまちづくり」をSDGsの目標の一つである「住

識し、最大の課題である超

川町月輪が高い人口増加率をで、良い学校も多い。比企郡滑フスであるなど教育熱心な県 たが、埼玉は子育て世代を録したことが話題となりま

「次」 につながる SDGs

SDGs に関し先進的な取り組みを行う自治体として、国から「SDGs 未来都市」に選定されるなど全国的な注目を集める埼玉県。大野元裕知 事が推進する「埼玉版 SDGs」の特質とは——。熊谷市を本拠に、県内に個別指導の学習塾を多数運営する株式会社 YZ コンサルティング の清水裕司代表が、教育事業者として、経営者として、そして埼玉に生まれ育ち、家族とともに??暮らす生活者としての視点から迫った。

Qualitas 94 95 Qualitas



活動が評価されるかの指針をと思います。そこで、いかなるでは高いハードルもあるの取り組みESG投資の恩恵を 中小企業にとっては、SDGs

の実現に貢献する動きが広が金融を通じて持続可能な社会 関も関心を示されていて、県 にました。 県内の他の金融機融資を令和3年10月から開 おいても SDGs の達成につな

ちょこたび埼玉

などに応じて、金利を優遇は時に設定した目標の達成

G投資は意義があります。実践が資金調達に関連する ぶうんです。その点で SDGsッながるという意識が重要だ

企業価値向上の道筋示す SDGs で

学べる仕組みになっています。 トに、楽しみ ながら SDGs を てポイントGET」をコンセプ

『県内企業、県民の皆様との「ワンチーム」で、埼玉版 SDGs を加速する。』

策で心強いのが、企業が参加す機討中なのですが、埼玉県の施機対中なのですが、埼玉県の施現在、3つ目のテーマとして

他社と交流しながら、SDGs をるシンポジウムやセミナーなど.

が豊富にあることです。び、具体的活動を検討す

佼所内での SDGs 推進を部[**大野:**埼玉県では令和2年4日

歩進め、9月に企業や団体に断で開始し、その取り組みを

してもらい「埼玉県 SDGs

「働きがいも経済成長も」の観高い教育をみんなに」とともに、

。まず事業と直結する「質のDGsの取り組みを開始しまし

点から、残業削減など働き

•••••••••

離職率が顕著に低下

どの結果が得られました。 においても業績がアップす

•••••••

1982 年埼玉県出身。2006 年個別指導の塾教室長就任。学習塾の譲渡を受け、2010 年株式会 社 YZ コンサルティング創業。埼玉県を中心に個別指導の塾を運営し、2021 年現在、33 校を展開 する。2025年までに50校展開予定。



## 『事業活動を「持続可能」の観点で捉え直し、質の高い教育を。』

大野:その通りです。難-

たな発見がありました。 県では今後も、SDGs と取組 県では今後も、SDGs と取組 県では今後も、SDGs と取組 をだけではなく、環境、社会、 経済の SDGs の三側面に加え、 多様性などにおいてもプラスの さらに企業・団体連携につなが署で始まり、次に部局を横断し、 行動全てが SDGs の実現につな電や節水、ペーパーレス化などの の取り組みは最初、庁内で一部 がっています。県もまた、SDGs り、活動の幅が広がるたびに新 普段から取り組まれている節 ります。とくに中小企業は、実事業内容などで優先順位がありますが、どんな会社でもれたりますが、どんな会社でも

動領域を広げていける目標で観点でとらえ直し、無理なく活る事業活動を「持続可能」の ステップアップの道筋を示してくあり、埼玉版 SDGs には、その 事実です。SDGs は、身近なこ施できることに限りがあるのも れる仕組みがあると感じます。

県民の皆様が SDGs について考また企業・団体のみならず、と考えています。 し、実践の輪を広げていきたいSDGs のプレイヤーを一層増や今後も 定期的に募集を 行い、 期分までで計448者を登録 「SDGs パートナー」は、第4 募集中で、100者を超えるし、2022年2月現在第5期

清水:実は当社も、 は、企業の業種や規模に応じ

業・団体等を登録する「埼玉の実施内容を公表する県内企また、SDGsに取り組み、そ パートナー専用のロゴマークをじています。令和3年9月にはた目標設定などの個別相談に応 の「あかし」を得られる制度とら SDGs に取り組んでいること 体に使用可能としました。県か作り、登録者が名刺や広報媒

業を検討しています。と連携で、相乗効果を生む事

するまちづくり・レジリエント」るよう、「コンパ

Qualitas 96

97 Qualitas